

## 大江首席交渉官代理による記者会見の概要

日時：8月5日（火）17：30～17：42

場所：米国ワシントンDC ナショナル・プレス・ビルディング

### 【冒頭発言】

前回、オバマ大統領の訪日時に8合目まで来たけれども、それ以降、霧が立ちこめていたので、日米の共同作業で霧を晴らす作業をしたと申し上げた。今回も、非常に集中的に中身の濃い協議ができた。霧が晴れたので、これから頂上まで登り始めなければならないが、霧が晴れたら頂上までの道は決して平坦ではないこともわかった。問題というのは、易しい問題から最初に片付いていくものである。残された問題は、解決が難しいからこそ最後まで残っている。今回の交渉は非常にタフな交渉であったが、前々回の協議ぐらいから、頂上に辿り着こうという目的が日米でシェアされていると感じる。平坦な道ではないが、少しずつ頂上に向かって歩き始めた。そういう意味では、進展はそれなりにあったが、まだ難しい問題が残っている。いつまでも交渉を継続しているわけにはいかないのだから、あと何回協議を行う必要があるかわからないが、日米の交渉については出来るだけ早く頂上まで辿り着きたい。

### 【質疑応答】

（記者）

前回、セーフガードを中心にお互いに意見が近づいたという趣旨の発言があったと思うが。

（大江代理）

前回、霧が晴れたと申し上げたのは、双方が何を詰めなければならず、そのためには如何なる手法が可能かということについての理解が深まったという意味で申し上げた。霧が晴れた後は、空欄に数字等を当てはめる作業に入る。そうなると共同作業ではなく、綱引きの世界に入ってくるため、よりタフな交渉となる。その意味で、交渉は一步前に進んでいるが、その分、共同作業というだけでは済まない領域に入ってきた。

（記者）

具体的条件について交渉をしたのか。

（大江代理）

一つではない、複数の条件について、どこがランディング・ゾーンかを模索する作業を始めると、立場の違いが様々な形で出てくる。以上はセーフガードについてであるが、残されているのはセーフガードに関する問題だけではない。それ以外の残っている品目についても交渉をしている。

(記者)

タフとは、厳しい交渉であったという印象か。秋までの見通し如何。

(大江代理)

交渉が詰めの段階になると、どうしても綱引きの世界になるので厳しい交渉になるのは当然である。今後の見通しにつき、お互いの日程の都合上、8月にもう一度協議することはできないので、8月の協議は今回で最後だと思う。9月以降は、可能な限り頻繁に協議することになると思う。首席交渉官会合のスケジュールとの関係もあるので、次回の協議の日程を具体的に決めることはできなかったが、9月以降、集中的に交渉し仕上げていきたい。

(記者)

直前に米国議会下院議員140名が日本の市場開放を求める書簡を大統領宛に発出したが。

(大江代理)

米国からは、如何に米国内の状況が厳しいかということにつき、懇切丁寧な説明があったが、それが直接交渉に影響を与えることはない。大統領訪日以降、米国のステークホルダー等の動きがあるが、その中でもゴールまで行こうという強い意欲をお互いに持って交渉している。

(記者)

今回の協議により、当初想定していた進展を得られたという印象か。

(大江代理)

前回は共同作業で霧を晴らすという作業であり、どちらかが譲るか否かという問題でなかったが、霧が晴れると、最後はお互いに綱引きのような場面になる。そのため、今回は前回よりも厳しい交渉になることは来る前から想定していた。雰囲気は良く、まとめようという意思を双方が強く持っていることが感じられる良い交渉ができた。

(記者)

政治レベルの判断を仰ぐ局面には至っていないか。

(大江代理)

何が起こるか予断できないが、ここだけ残っており、あとは政治判断のみだという状況ではない。

(記者)

日米の交渉の進展が、今後の全体の交渉の勢いを決めるという見方が依然として根強いが、その意味では今回の協議は、その期待に応え、次の弾みをつけられるものであったと思うか。

(大江代理)

次に繋がる交渉であった。完全に空回りして、お互いに何をして良いかわからないという状況ではなく、お互いの宿題は何か、お互いが次の協議に向けて準備しなければならないことはわかっており、前に進んでいる。いつまでも交渉を続けていると、他国との交渉や全体に影響が出るので、秋以降は集中的に協議を行いたいと思っている。

(記者)

前は数ヶ月以内にとのことだったが、日米でこれまでに決着したいという期限はあるか。

(大江代理)

お互いに期限ありきの交渉はしないということで進めており、何月までにということはお互いに話していないが、この数ヶ月以内ということは変わっていない。

(了)